

第 132 回大阪回生病院治験審査委員会 議事概要

開催日時：平成 27 年 9 月 24 日（木） 16:05～16:50

開催場所：大阪回生病院地下 1 階 会議室

出席委員：谷村博久（委員長）、加藤敦子（副委員長） 関谷正志、金力賢治、中川和重、
尾井幸一、谷口建夫（外部委員）、鈴木ちえ子（外部委員）

（事務局：楽真澄）

【審議事項】

- ① サノフィ株式会社の依頼による中等症から重症のアトピー性皮膚炎成人患者に対する **DUPILUMAB 単剤療法の有効性及び安全性を検討する第 III 相検証的試験**
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- ② サノフィ株式会社の依頼によるアトピー性皮膚炎患者の治療反応の維持を目的とする、**DUPILUMAB 単剤療法における異なる投与レジメンの有効性及び安全性を評価する第 III 相無作為化二重盲検プラセボ対照試験**
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- ③ サノフィ株式会社の依頼による先行する Dupilumab 臨床試験に参加していたアトピー性皮膚炎患者を対象とした Dupilumab の非盲検試験
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- ④ 第一三共株式会社の依頼による DS-5565 第 III 相国際共同試験（PHN）
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- ⑤ ノバルティスファーマ株式会社の依頼による慢性特発性蕁麻疹を対象にしたオマリズマブの第 III 相試験
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- ⑥ ファイザー株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした SC-66110 の第 III 相試験
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：承認
- ⑦ アルフレッサ ファーマ株式会社の依頼による特発性過眠症患者を対象とした CN-801 の第 III 相臨床試験

安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の終了：「治験終了報告書」に基づき、治験の終了について報告がなされた。

審議結果：承認

⑧ **アルフレッサ ファーマ株式会社の依頼による特発性過眠症患者を対象とした CN-801 の長期投与試験**

安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

⑨ **武田薬品工業株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎の治療における、MLN0002(300mg)の第3相試験**

安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

⑩ **武田薬品工業株式会社の依頼によるクローン病の治療における、MLN0002(300mg)の第3相試験**

安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

○ 2016年委員会開催日について

- ・1月から10月までは規約通り第4水曜日開催とする。
- ・11月は24日（木曜日）、12月は22日（木曜日）開催とする。

【報告事項】

○以下の治験における「治験分担医師・治験協力者リスト」についての報告がなされた。

●大正製薬株式会社の依頼による TS-091 の第Ⅱ相試験

以上